

Deltapath® Acute™

医療機関、患者、医療従事者同士のコミュニケーションの方法を変える事で多くの方に利益をもたらします。

今、世界中で高齢化が進んでいます。事実その数字は過去最高のものになっています。近年では、医療機関は地震やハリケーンなどの天災に対しての備えが必要不可欠のように、高齢化等による地域住民の様々なニーズに対しても対応することが必要になってきています。このような医療機関や医療従事者へ対するニーズは世界中で増え続けています。それは、いかなる場所でも安定的な医療を継続的に提供することが難しくなっていくリスクがあるということも意味しています。

すべての人々の健康と福祉を確保する事で、人命を救うという医療産業のミッションを安定的継続するための新しいプランや重要な変更はひろく支持されています。

Deltapath Acuteアプリケーションは、医療機関のミッションの継続性、業務効率の向上、医療サービスの質の向上、そして医療従事者の業務への満足度の向上を確かなものにします。Acuteは医療システムとの連携が可能で、スマートフォンを利用した次世代の医療コミュニケーションの実現もサポートします。そして高齢の患者への定期的なケアや予期が難しい様々な状況に対応できる医療機関の未来をサポートします。



ナースコールは患者と医療従事者を“つなげる”システムです。病院、老人ホーム、介護や支援施設など多くの場所で利用されています。一般的に、患者の部屋やトイレ、また公共エリアに設置されており患者は簡単に使用できるようになっています。

患者情報の統合を可能にします

従来のナースコールシステムは、患者がナースコールボタンを押した場合に“押された”という情報しか医療従事者には伝わらないために適切な対応を瞬時にとることが難しいものでした。しかし、Acuteを利用することでナースコールが押された場合に、その患者の名前や部屋番号はもちろん“押された理由”やその患者の医療データなどがスマートフォン上に表示されます。



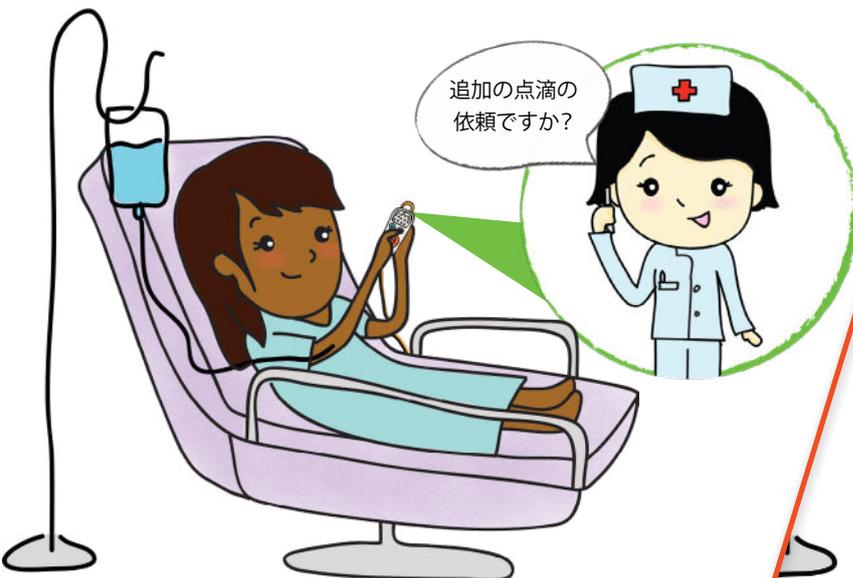
Acuteは、医療機関が患者の医療データを簡易に参照できることで、医療従事者が患者とより良いコミュニケーションを確立する事をサポートします。リアルタイムで患者のニーズ、必要な情報、患者の医療データをAcuteで提供することにより、医療従事者は患者のニーズを正確に把握・対応出来ることで患者へのケアの質の向上を可能にします。

患者へより高い安心感を提供します

相互に信頼しあえる、患者と医療従事者との関係は、患者への治療をより効果的なものします。そしてAcuteはコミュニケーションを通じて、この関係をより確実なものとしします。

患者がナースコールボタンを押すたびに、そのコールは指定された医療従事者グループへ通知されます。医療の専門家は患者と直接話すことによってその目的を達成するのです：

- » 患者のニーズを正しく把握している
- » 患者への適切な治療方法が明らかになっている
- » 患者は医療従事者が速やかに対応してくれることを理解している
- » 患者のニーズに対して適切な声かけが行われる



医療従事者間の新しいレベルのコミュニケーションを開きます

患者の生命を守るすぐれた治療を提供するためにはチームとしてのコラボレーションが不可欠です。Acuteは医療従事者が互いに連絡をとりあいながら患者に対して適切なケアをすることで、連携がとれ組織だった患者対応プロセスの構築を可能にします。すべてのコミュニケーションソリューションは迅速かつ安全であり、また柔軟性が求められ、医療従事者があらゆる状況や環境に適応できることが必要です。

施設内の他の医療従事者に電話をかけ共同作業の会話に参加し、必要に応じてビデオ通話でコミュニケーションレベルを高める事も可能です



患者の機密性に問題である場合には、インスタントメッセージを利用する事で他の医療従事者と速やかな連絡が可能でです。写真を添付することでテキストベースのコミュニケーションをより高度なものにします



緊急時など、担当グループ全員とのコミュニケーションやコラボレーションが必要な場合にはプッシュトークを使用して瞬時に全員との通話を実現します。



プレゼンス機能によって医療従事者同士のコミュニケーション精度の向上をはかり、医療機関においては責任や義務に対する意識の向上を高めます。



*データシート内に記載されている機能にはナースコールシステムや他の医療システムとの統合によってのみ提供が可能になる機能も含まれています。

すべてのコールが同じではありません

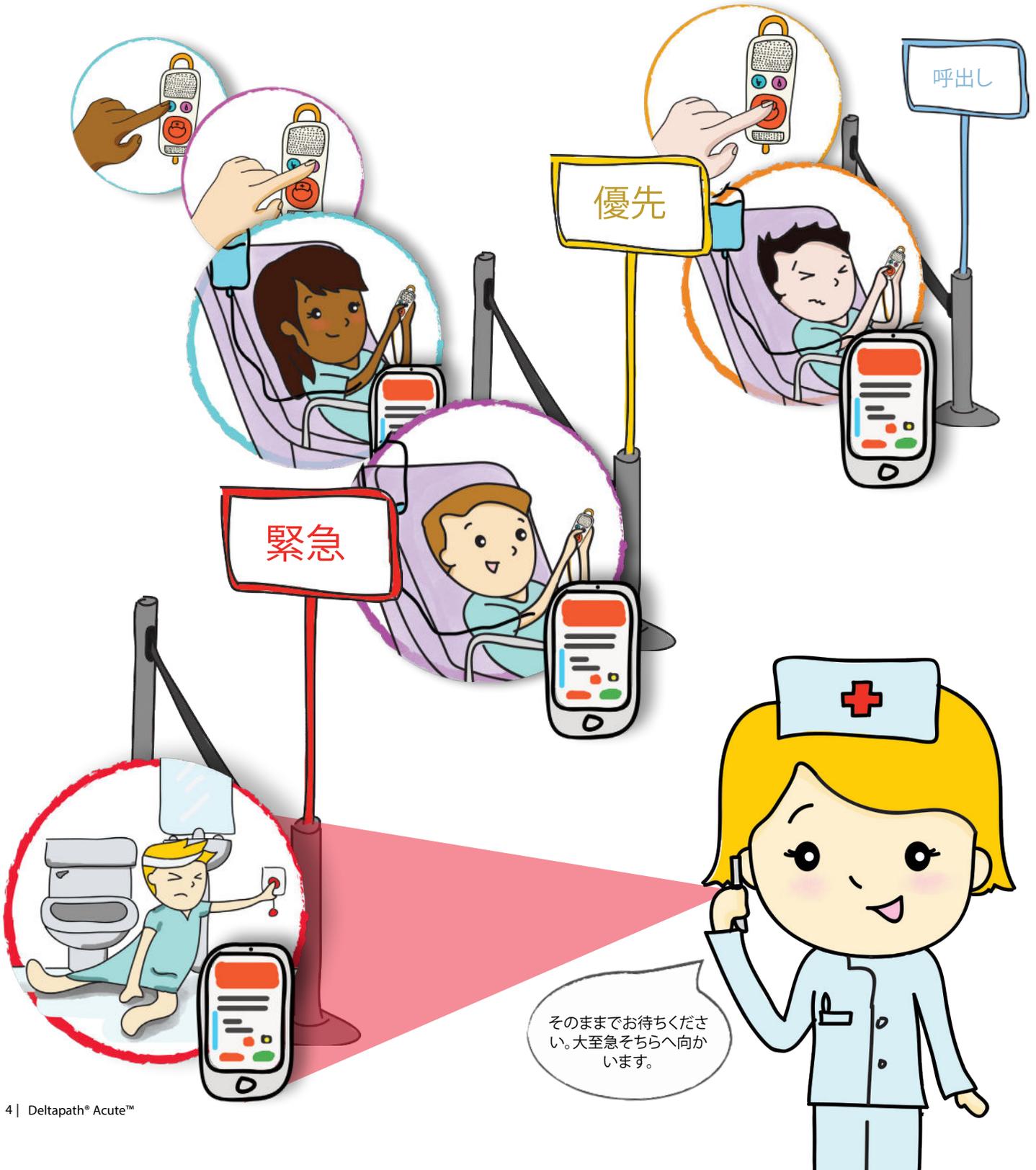
患者ニーズの把握

Acuteを利用することで医療従事者がナースコール通知をスマートホン画面で目視確認出来ない時でも、その通知内容を把握することが可能になります。Acuteではナースコールボタン毎に異なる着信メロディや着信音の設定が可能です。それによりスマートホン画面を見ることなく、押されたボタンの音やメロディで患者のニーズを簡単に把握することが出来ます。また現在対応中の業務との優先順付けを行う事も可能になり、必要に応じてナースコール対応を他のスタッフへ依頼することもできます。



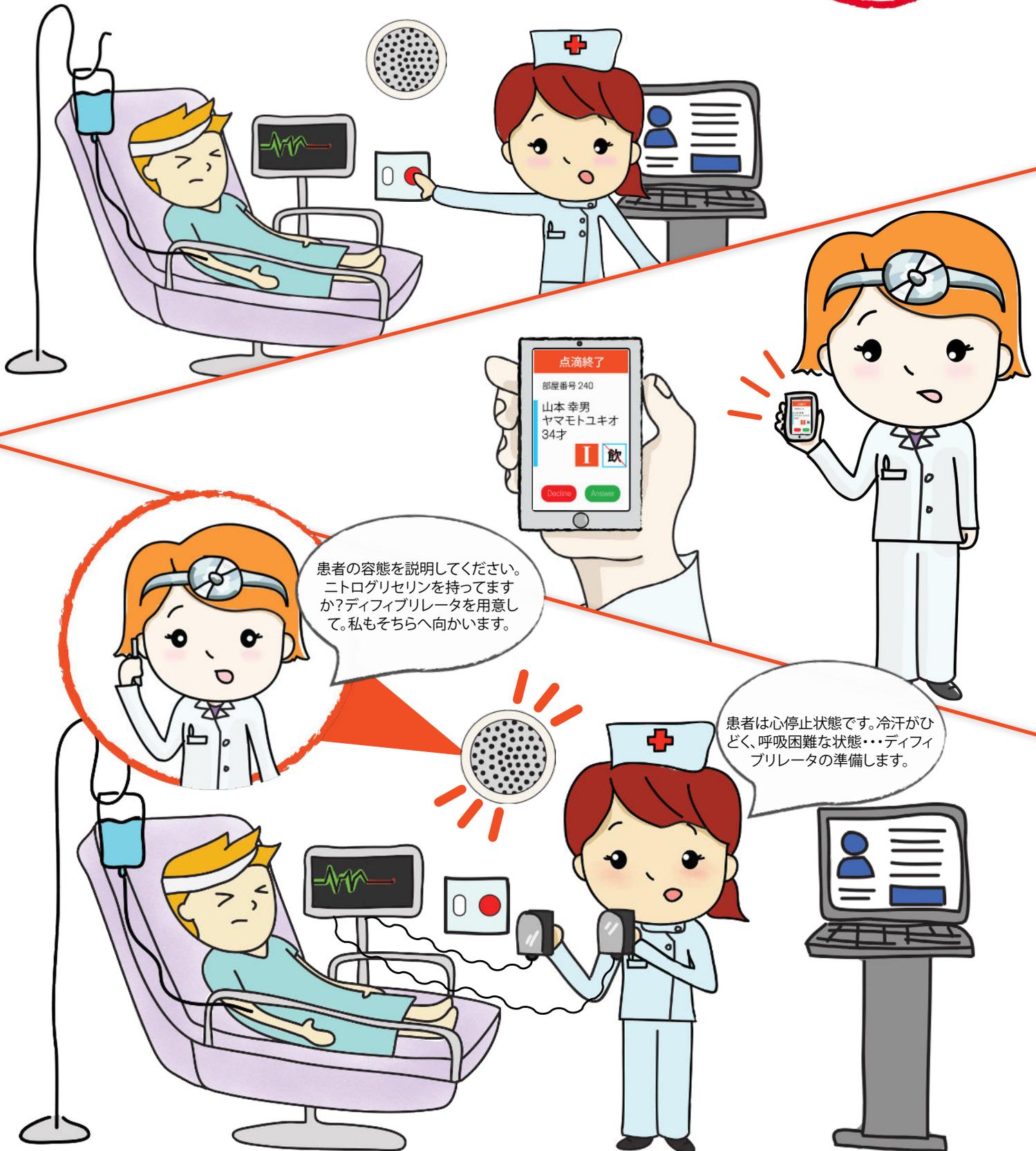
ナースコールの優先順位

迅速かつ適切な対応が時には患者の生死を分けることもあります。そのためにナースコールのボタンは異なる優先順位の設定が可能になっています。患者が優先順位の高いナースコールボタンを押した場合には優先度の低いコールより優先されることで緊急時の対応が可能になります。



スタッフ緊急呼出しボタン

スタッフ緊急通報ボタンは、各患者の部屋に配置されており、緊急時に即座にサポートを求めるために医療従事者が使用します。ボタンを押すと業務中の医師のグループへ同時に着信がはじり、通話に応答した医師は患者との連絡の前に適切な対応をとる事が可能になります。救命措置の指示は患者の部屋のスピーカーを通じて医療従事者に伝えることができます。緊急呼出しボタンで応答時間が短縮されるだけでなく、患者の健康状態に問題が発生してから治療までの重要な時間も短縮されます。



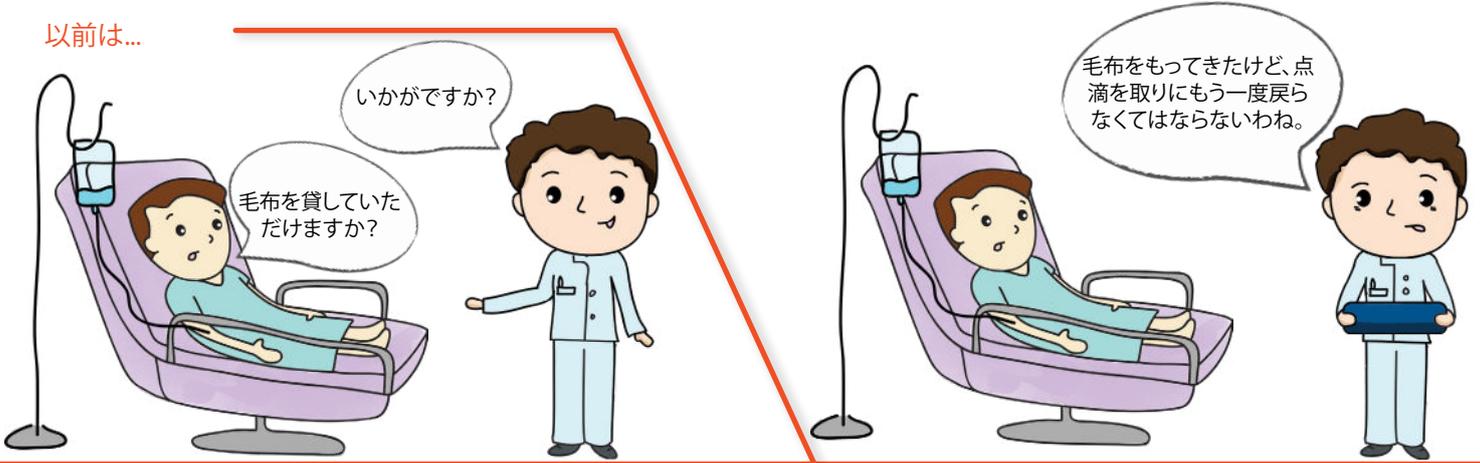
*データシート内に記載されている機能にはナースコールシステムや他の医療システムとの統合によってのみ提供が可能になる機能も含まれています。

医療従事者のストレスと負荷を軽減します

非効率な業務を軽減

多くの医療従事者は、多忙な業務や、長い労働時間といった厳しい労働環境の中で多くのストレスや疲労に直面しているケースも少なくありません。Acuteは、医療従事者が患者をケアするために必要な一連のステップを少しでも減らすことでワークフローの改善を目指しています。少ないステップにする事で医療従事者の無駄な労力を削減し、患者に対してより質の高い医療を提供することができます。

以前は...



Acute導入後...



余裕をもった対応

ナースコールボタンが押されると患者の位置が表示され、医療従事者は患者との距離に応じてそのコールに応答することが可能になります。患者により近い医療従事者が応答することで対応時間とその質が向上します。また医療従事者の移動距離や時間の削減にもつながり、疲労を防ぐことができ余裕を持つことで医療の質の向上にも貢献します。

パニックバリュー 通知システム

パニックバリュー 通知システムを利用する事で、医療従事者は医療緊急事態が発生する前に適切な措置を積極的に講じる事が可能になります。パニックバリューシステムによって患者の検査データ内に1つでも異常な数値(各医療機関が定義する指定の範囲内に収まらない数値等)が確認された場合には、患者が即時に救命処置をとる必要性があると判断し担当医師のスマートフォンに自動的に通知します。医師は受取った通知から患者データを確認し、迅速で適切な指示をだすことが可能になります。

Acuteは様々な医療システムと連携することが可能です。詳細に関してはDeltapathへコンタクトしてください。

パニック値は「患者の生命に重大な影響がある検査値」で、医師は速やかに適切な対応をとる必要があります。

Acute データシート

機能

推奨する業界

- » 病院
- » 高齢者施設
- » 介護施設
- » ホスピスケア施設
- » 救急医療センター
- » クリニック

対応する通信方式

- » Wi-Fi マルチキャスト
- » 3G/LTE
- » インターネットIPv4

対応するエンドポイント

- » Apple iOS 8.0+
- » Google Android 4.1+

セキュリティ

- » 強化された通信チャンネル暗号化

呼出音

- » ナースコール呼出し音のカスタマイズ
- » 患者コール理由の特定
- » 緊急呼出しコール呼出し音のカスタマイズ

ナースコールシステム

- » Acuteとナースコールシステムの統合によりナースコールボタンが押されると、事前に設定された医療スタッフグループへ一斉発信
- » スマートホン上に表示される下記情報のカスタマイズ:
 - ・ 呼出し
 - ・ 患者氏名
 - ・ 患者の部屋番号
 - ・ 患者の医療データ
- » ナースコールの優先順位振分け
 - ・ 最優先対応の必要な患者確認
 - ・ 優先順位が高いコールを最優先での対応
- » Acuteによる緊急ボタン統合
 - ・ 医療スタッフはトイレで押された患者からの緊急呼出しをスマートホンでアラート受信
 - ・ 患者の部屋からスタッフ緊急呼出しボタンが押された場合には担当医師グループにも同時にコール着信
 - ☑ 患者の部屋に設置されたマイクとスピーカーを通して速やかな指示が可能
 - ☑ 緊急対応が必要とされた時点から処置まで時間の短縮を実現

ナースコールシステム連携インターフェース

- » PRI
- » BRI
- » IP (IPエクステンジャー、ケアコムNiCSS-R8)

その他連携医療システム

- » LA c-Pro アラート管理【リード株式会社】
 - ・ パニック値: 患者の生命にかかわる検査数値データ
 - ・ パニック値が検出された場合には、緊急通知が指定された医師またはグループへ自動的発信
 - ・ 自動通知により迅速かつ確実に担当者へ情報が伝わることで、速やかで適切な処置をサポート

内蔵マルチコミュニケーションチャンネル

- » プッシュツートーク
- » オーディオ
- » ビデオ
- » インスタントメッセージ
- » 会議通話

緊急時のプッシュツートーク通話

- » 緊急時における医療スタッフ間の速やかな音声コミュニケーション
- » 会話時間の追跡:
 - ・ 緊急時の対応時間の追跡.
- » 会話のコントロール
 - ・ グループ作成
 - ・ グループメンバーの識別
 - ・ グループの編集
 - ・ グループの削除
- » スピーカーによるリスナーの識別
- » 非応答通知の表示

音声およびビデオ通話

- » 場所・時間を限定しない柔軟なスタッフ間の協業
- » 場所・時間を限定しない医療従事者と患者間のコミュニケーション
- » 応答不可時の設定および発信者のスマートホン端末上でのステータス表示
 - ・ 医療スタッフ間での現在のステータスおよび所在地情報の共有
 - ・ 応答不可時でも緊急呼出しコールの設定
- » ビデオ通話への移行

インスタントメッセージによるコミュニケーションの迅速化*

- » 多様な医療情報媒体の補足コミュニケーション:
 - ・ ビデオによる医学生との医療プロセス共有
 - ・ 患者のX線やCTスキャンなどの画像データ共有
 - ・ 患者への治療指示などの音声録音データ共有
- » チャットグループ作成によるグループ内会話の設定
- » 送信されたメッセージのコピー、削除、または転送
- » プッシュ通知の受取り
- » ステータスインジケターによる、メッセージの送信、受信のステータスの確認

*インスタントメッセージモジュールの購入が必要になります

音声会議による医療コンサルテーション

- » 診断結果や治療方法などを他の医療スタッフと音声会議を通じて検証・議論
- » 医療スタッフと患者間に通訳を介する事でよりスムーズなコミュニケーションの実現
- » 1:1の通話を複数参加の音声会議へ拡大することでより効果的なコミュニケーションを実現
- » 音声会議への新規参加者の追加
- » 会議主催者の参加者管理
 - ・ 管理者権限付与
 - ・ 会話および聞取り
 - ・ 会話のみ
 - ・ 聞取りのみ
 - ・ 参加者のミュート/アンミュート設定
 - ・ 参加者の切断

医療緊急通知システム

» APIs

- 緊急通知確認
 - ☑ 医療スタッフの緊急通知応答時の履歴追跡
- 緊急通知のトリガー
 - ☑ 通知対象者の指定
 - ☑ 呼出音の指定: 通常, 緊急, バイオノミカル
 - ☑ 呼出し間隔の指定
 - ☑ スマートホン上の表示情報のカスタマイズ
- ユーザー緊急通知履歴リスト(ユーザー)
 - ☑ 特定患者の緊急通知履歴
 - ☑ 日付、時間、頻度で検索
- 緊急通知対応リスト
 - ☑ 緊急通知履歴へのアクセス

コールレコーディング*

» オーディット対策:

- 音声/ビデオ通話
- プッシュツートークによるグループ通話
- 音声会議通話

*レコーディングモジュールの購入が必要になります

対応言語

» 日本語 » 英語

キャパシティ	モデル		
	Golden Gate Edition, Columbia Edition, Fuji Edition	Tower Edition, Challenger Edition, Kilimanjaro Edition	Brooklyn Edition, Discovery Edition, Everest Edition
最大トークグループ数 ¹	10 *	ネットワーク帯域幅に依存 *	ネットワーク帯域幅に依存 *
トークグループに登録できる最大メンバー数	200 *	1500 *	3000 **

特記: すべてのEthernet ポートは最大1000 Mbpsに対応

*ネットワーク帯域幅に依存

**1000Mネットワーク接続で使用できる最大帯域幅は約700Mbpsになります。そのため、合計アクティブユーザー数は合計帯域幅700 Mbpsを超えることはできません。

¹アクティブユーザーとは、トークグループ内の登録ユーザーになります。複数のトークグループに属するユーザーは、異なるユーザーとしてカウントされます。各アクティブユーザーの必要帯域幅は0.4 Mbpsです。アクティブなユーザーの数に基づく必要な帯域幅に関しては下記のテーブルを参照してください。

必要帯域幅

アクティブユーザー数	必要帯域幅
100	40 Mbps
200	80 Mbps
300	120 Mbps
400	160 Mbps
500	200 Mbps
1000	400 Mbps
2000	800 Mbps

アクティブユーザー毎の必要帯域幅は0.4 Mbps

デルタパスについて

デルタパスは、多くの企業、また様々な業種・団体のお客様へユニファイド コミュニケーションソリューションを提供しています。

音声・ビデオ通話によって、いつでも、どこからでも、どのようなデバイスでも距離を感じることなくビジネスコミュニケーションやコラボレーションを実現します。

デルタパスソリューションは、医療、教育、製造、コンタクトセンター、サービスオフィス、電気通信、小売および卸売、エンターテインメントビジネス、公共機関など、さまざまな業界のお客様からのサポートを基盤として、94カ国で利用されています。

お問合せ

Deltapath Unified Communications Platform
の詳細はデルタパスの担当セールスもしくは弊社販売代理店へお問合せください。



JP +81 3 3527 7899
USA +1 408 707 3299
NZ +64 9 886 9799
HK +852 3678 9999
TW +886 2 7728 3099
PH +63 2 8790 0295

jp.deltapath.com